





審査結果報告書

2021 年 1 月 15 日

主査 氏名 佐藤之俊 

副査 氏名 内藤 剛 

副査 氏名 村雲芳樹 

副査 氏名 隈元唯何 

1. 申請者氏名 : 細野 浩史

2. 論文テーマ : Usefulness of narrow band imaging with magnifying endoscopy for the differential diagnosis of cancerous and noncancerous laryngeal lesions
(喉頭病変の癌・非癌の鑑別における NBI 拡大内視鏡の有用性)

3. 論文審査結果 :

Narrow band imaging (NBI) という内視鏡技術は、消化管内視鏡や気管支鏡の検査で広く用いられるようになった方法であり、内視鏡の診断機能を強化する技法として知られている。しかし、本技術を喉頭病変の癌・非癌の鑑別に用いた場合の有用性は明らかにされていない。このような臨床上の課題を解決するための新しい診断方法を開発する目的で、当院での対象を後視的に検討したのが本学位論文の内容である。

本研究では約 7 年間における声帯病変 166 例が検討された。これらの内視鏡所見の検討から、喉頭癌では、色調の発赤、白苔あり、角化あり、異常血管ありが有意な所見であった。とくに、NBI 拡大視での異常血管の有無は感度・特異度・正診率が高く、このことから、喉頭病変における NBI では、異常血管の視認が癌・非癌の件別診断における有用な所見となり得ることを示した有意義な研究であった。

本研究に関する質疑応答では、検査のプロセス、方法論と所見の細分化、得られた知見の有用性、今後の治療展望などについて多くの質問がなされ、申請者はこれらの質問に適切に回答した。以上より、本研究は博士課程の学位論文に相応しいものであると考えられ、博士号を授与するに十分値すると判定された。